③片目男の独白

池上遼一

ウソやない……

ウソやあれへん………

信じて下さい！

信じて
下さい
自分は
気狂いなんかや
おまへん！

弐

パタパタパタ

旅館
白鳥

フウン…

……で
そのまま
精神病院へ
つれていかれ
ちゃったわけ……
おじさん

グ〜グ

ま……

そう
いう
こっちゃ
……

グ〜
ス〜

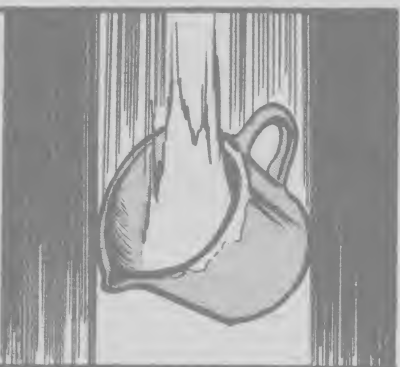
グ〜〜
グビビビ……

自分の言うことを他人ども
が信じてくれへんようにな
つたのは
自分が他人どもをまるっき
り信じんようになってから
や……

それは突然　いや少しずつ
病名のない眼病にかかって
いたせいやろ………

この仕事は最初怖かったが慣れると
そうでもない……だが
慣れた頃から

金属を腐蝕させる塩化鉄
で衣類や皮膚がだんだん
役にたたなくなるだけで
なく

臭素の刺激で
頭脳の組織が
変化し

視力さえも衰えて
くるんや……

……

しかし　そんな危険な仕事だが
自分は堪えた……

五年前に社長から約束された
一言を信じて……

ところが……！

自分のちょっとした不注意から劇薬は社長の左側の顔面の皮をめくりとってしまったんや

そして裏側に隠れていたその醜い左顔面は社長の顔の全体を瞬間支配したかに見えて

……
なんの為に穴の中で
自分は七年間堪えて
きたのか……
信じていたからや……
不景気時代たった一人の
職人に向って嘆願した
社長の一言を
……それを……!
自分の心は大きく動揺し
頭が燃えるように熱くな
ってきた……

その時やった!

劇薬の
煙の中に

社長の醜い
左顔と
右顔とが
完全に独立し
徐々に離れて
いくやない
か!?

強烈なショックのためにおこった
自分の眼の錯覚か!?

いやそうだとしたら
すぐもとへ戻る
はずや

社長の顔はいつまでも
二つになったまま
なおも……

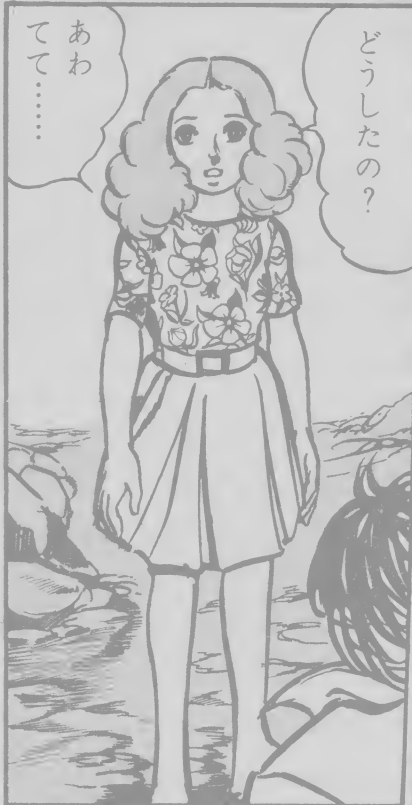
左顔の方は嘆願した約束を
裏返しにした信じられない
言葉を吐き続けていたんや!

あほんだら!
おまえ
みたいな
奴に
わいの娘が
やれるかあ!

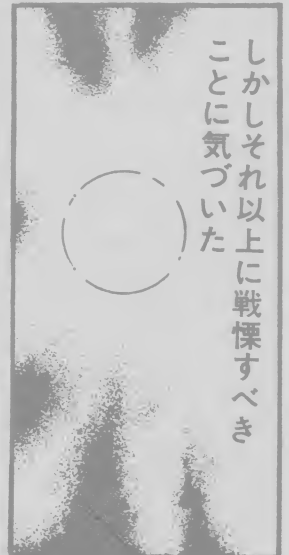
それに……

どうしたの?
あわ
てて……

あ
お嬢
さん!

狂気い！

劇薬で焼けただれた醜い顔
それは虚偽と欺瞞の肉のかたまり
裏側の顔や……
それがなぜはっきり
二重写しになって
見えだしたのか？
お嬢さんの顔
まで………！

やはり眼の錯覚
やなかった……
こいつが劇薬に
犯された
眼病の症候
やったんや
穴倉の中で七年間
……こんな怖しい
病気だとは
思わなかった

しかしそれ以上に戦慄すべき
ことに気づいた

この病名のない眼病を誰も
信じてはくれなかったことや！

信じて
下さい！
自分は
気狂い
なんかや
おまへん!!

四

くんくん

パタ
パタ

くそったれ!
キャー!
キャー!

シャーッ

む!

!
……
ザッ

ジャリッ

グ～～グ～～

そ、それで片方の眼に眼帯をしてれば醜い方の顔は見なくてすむんだね

そうややむをえずこうしているんや
こうしなければ自分は他人の中で生きていけない………

お、俺・怖くなったぜこいつをはずすのが

はずすな坊やはずすんやない…
はずしたらあかんわいとお前は仲間やはずさんときや！

坊やその男にふれるんやない！
？

そいつは二年前に質屋を襲った宝石泥棒やっ！

いくら眼帯をはずしとうない言うたかてやな
もっとましな話が考えられそうなもんやで
まるで子供だましやないか……え？
そんな妄想じみた詭弁をわれわれがハイそうですかってあとへひけると思とんのかい
いいかげんに眼帯をとったらどやねん！
眼帯の裏は義眼でその中に盗んだ宝石を隠していることぐらいこちとら察しがついとんのや
オット言い忘れとったわいは西成警察署のモンや

ドダドダドダ!

わいは宝石
泥棒なんかや
おまへん!

ギギァアアアッ!

!……

義眼や
なかった
………
……
精神病院
を退院
したのは
いつやっ
一年と
三ヶ月
前……
……
その時から
眼帯を
はずしたことは
なかったの
か!?
信じて…
信じて
………
く

おじさん！

風太郎

③

片目男の独白

完　1968・5